

富浦地区学校再編に関わる地区説明会の結果について

1. 開催概要

開催日	対象者	会場	参加者数	
			保護者・市民	検討委員
令和8年3月12日(木)	保護者	富浦中学校体育館	21名	17名
令和8年3月13日(金)	地区住民	富浦中学校体育館	6名	14名

2. 説明概要

これまでの富浦地区学校再編検討委員会の検討状況、保護者アンケート(自由意見調査)の結果を説明しました。自由意見調査書を精査すると、反対意見に記載したものの、学校統合には反対していないものが多くあり、賛成意見と合わせると約8割の方が学校の統合に関心を持っていることが分かりました。

この結果からも、教育委員会としては引き続き、学校再編に関する結論を得られるよう協議をお願いしていく考えを説明しました。

3. 質疑応答内容(抜粋)

令和8年3月12日(木) 保護者対象説明会

(1) 保留という事ですが、来年度も同じような委員会をもって審議を続けていくのか、それとも、何年かおくという事なのでしょうか。

回答(委員長) 統合する・統合しない、この答えが非常に拮抗している。さらに細かく分析していくと、統合を考えなくてはいけないと思いながら、今の時点では反対をせざるを得ないなど、色んな内容が含まれています。新年度になり、教育委員会の方で新たに、今までの統合案以上のものがあるのかどうか。こういったものも検討を加えながら、今後、子どもたちにかにいて快適な教育環境を提供できるか、この辺を更に検討していこうというのが、今現在の我々の考えです。

回答(教育長) このまま再編検討委員会で協議を進めていきまして、統合ということになったとしても、恐らく早くて3年後、あるいは4年後になるかと思います。富浦地区で結論が出たら、富山地区と合同の検討委員会を開いていきますので、更に時間がかかり

ます。地区の皆さん、保護者の皆さんの意見を随時いただきながら結論を出してくというプロセスがありますので、非常に時間のかかるものだという事は御理解いただきたいと思ひますし、継続して再編検討委員会で協議をしていていただきたいという考えでおひます。

(2) では、この会議の開催のスピードで、今までと同じような委員会の開催状況で、このまま審議を続けていくという事でしょうか。

回答 (教育長) どんなに急いでも年間5回の再編検討委員会が開かれて、その間に地区への説明会、保護者への説明会を必要に応じて行っていく。そういう進め方になりますので、思った以上に時間がかかってくるのがこの再編についての協議になってきます。

(3) 早くても話し合いが3～4年近くかかる、その先を考えるとということなんですけど、ずっと反対意見が続いて、話し合いが続くとなったら、もっと時間がかかるということでしょうか。

回答 (教育長) 反対でしたら「この少ない人数で中学校生活を送らせても良いんだ」という結論をいただければ、それは、私どもは受け止めるしかないと思っております。反対の人達が多いということですが、何故反対なのかの理由も明らかになって、富浦地区は統合しないで、少ない人数でも子どもたちに中学校生活を送らせるんだというような結論がいただければ、私どもは富浦地区の結論としていただくことになるかと思ひます。

(4) 統合に反対している人ってそんなに多くないと思ひていて、反対意見としては、災害時とか交通の便とか、送り迎えとかが大半を占めると思ひんですけど、それについて、良くしていこうという考えとか、会議はやってくれているのでしょうか。教育委員会の方で、こういった案はどうでしょうというのが聞かれなかったんですけど、そういうところが知りたひです。

回答 (教育長) 災害時の対応というのは、第1回の説明会の時から御意見いただひており、その都度説明しております。これについては子どもたちの安全が最優先のことであり、万全の体制をとってやってきましたし、今後もやっていくという説明をしております。具体的にスクールバスを走らせるルートや、どこに停留所をおひて、災害時にどうするかなども、保護者を含めた専門部会を開き検討していきます。具体的な問題・課題につ

いてはその場でいただいて解決していきますので、今の時点ではそういうことで御了解
いただくしかないと思っております。

通学時間については、富浦・富山に限らず、バスで概ね30分程度でやっております。
その範囲の中で校舎をどこにするかなどについて提案するつもりです。

**(5) 3～4年近くかかると仰っていたので、3～4年後くらいには、どこに校舎を建て
るのか、どういったルートでバスを走らせるのかというのは、結論が出るという認識で
良いですか。**

回答（教育長） 富山地区は「富浦地区と再編の方向で」という結論が出ています。富浦地
区でも同じように再編していこうという結論、方向性が出ましたら、両地区合同の再編
検討委員会を開いていきます。その時点で、校舎はどこにするとか、いろんな条件の中
で提案することになります。それについては、両地区合同の再編検討委員会が始まった
時点で提案いたします。その協議はまた、丁寧にしていただく考えでいます。

**(6) 前回の保護者会では、三芳地区まで載った資料があったと思います。前回の中で、
仮に富山・富浦地区の統合がまとまった時点で、すぐに三芳との統合の会議に入らない
と時間が無いのではないかという話が出たと思うのですが、今回保留にされて、来年度
の小学校2年生・3年生のところへ合わせていくとなると、三芳地区の統合の時期にあ
たるのかとは思いますが、その辺はどうお考えでしょうか。**

回答（教育長） 三芳地区を入れますと、恐らく学年2クラス（※3クラスの誤り）になる
かと。そうなりますと、教室の数は現在、富浦中・三芳中のどの校舎を使っても足
らない状況になります。財政的にも将来的にも、新しく校舎を建てるという事はちょっ
と考えにくい状況ですので、一挙に3校一緒というのは数字の上から無理だと判断して
おります。大変残念ですけど、富浦中と富山中が統合して、更に両校の新しい学校の子
どもの数も減っていく、三芳の子どもも減っていく。そういう状況になったら、それ
を見通して、また再編検討委員会で協議していく。そういうことになるかと思ひます。

**(7) 懸念事項としては、「やっと統合が決まった、三芳も減ってくる見通しが立ったから、
また会議を開きましょう」だと、互いに負担が増えてくると思うので、そこら辺も見通
した運営をしていただいた方が、皆さんの負担が少しずつ減ってくると思うんですが、**

その辺も検討いただけたら嬉しいと思います。

回答（教育長） 隣の館山市の例ですけど、小学校は房南小学校を抜かすと、北条小と館山小の2つにする。今年度末で船形小、那古小が無くなって、来年度から那古船形小になるかと思います。その後、何年かしたら今度は北条小に、というような見通しです。その理由の一つは、教員の問題もあります。学校には、校長、教頭、養護教諭、事務職員などの一人職があります。今、南房総だけではなく、館山も鴨川も学校統合を進めておりますので、その人たちを安房地区外に異動させるというような作業も出てきて、非常に難しい。これは子どもたちには関係ない話なんですけど、学校を維持していくためにはどうしても解決していかなくちゃいけないものなので、その点からも徐々にやっていくしかないという事も御理解いただければと思います。もう一つは、新しい統合中学校になって、そこに三芳中学校も入るという事になれば、概ね皆さん方の御理解は早くいただけるのではないかと、そんな風にも考えています。

（8）子どもたちの意見ってあるんですか。実際に今就学してる子ども達に聞いてみたりとか、そういう活動ってしたことってあるんですかね。

回答（教育長） これまでいくつか学校統合してきましたけど、子ども達の意見は一切聞いてません。例えば、白浜小学校で4人・5人の学年がありますが、4人・5人で小学校生活を送ることが小学校生活自体にどういう影響があって、大人になってどういう影響が出てくる。そういうことを子どもたちに考えさせるのは、私は無理なことだと思っています。中学校についても同様であって、子ども大人は中学校生活がどういうものか理解しているわけで、子どもたちの数が10人程度の中学校がどういったものか容易に考えられるわけです。ですから、大人の責任として、学校統合の問題について結論していくという考えでこれまでやってきております。

(9) 子どもがどう思っているのかを子どもたちに聞いて欲しいなというのがあります。小学生の低学年に聞くのはちょっと分からないかも知れないんですけど、それは上手く先生たちに説明してもらって、実際に子どもたちが他の学校と一緒にになりたいのか、今のままでいきたいのか。統合するとこういうことになるよ、統合しないとかいうことになるんだよというのをちゃんと説明して、アンケートを取ってもらって、子どもたちは実際こういうふうに思っているんだよというのを聞いて欲しいです。

回答（教育長） 昨日の保護者の説明会でも同様の意見が出ました。例えば今、白浜小学校で一クラス4人・5人という状況が見えています。4人・5人で小学校生活を送ることが良いのかどうかということ子どもたちに聞くのは、子どもたちにとっても非常に困ることだと思います。経験していない中学校生活について、少ない人数で良いですか、いけないですかと聞いたときに、子どもたちが何を根拠に考えるのか。これは子どもたちに問うことではないと思ってます。私も大人は、小学校も中学校も経験しています。そしてそれをもとに今、社会生活を送っています。ですから、大人の見識、経験を踏まえて、子どもたちが学校生活を送るのにはどうしたら良いかというのを、大人の責任で考えて判断するのが一番良いことだと思っています。

(10) それは教育長の考えであって、私たち保護者がアンケートをとって欲しいと言っているんだから、それは取ってもらってもいいんじゃないですか。

回答（教育長） 保護者のアンケートを説明したと思います。保護者であっても、意見が揺れているわけです。そういう内容のものを子どもたちに問うて、子どもたちは何を元に考えて、どういう判断をする。それは、子どもたちにとってはできかねることだと思います。要望としては理解できますけど、大人でさえ難しい問題を子どもに問うことが、果たして適切な事かどうか、これはお考えいただければと思います。

(11) 統合するか統合しないか、それで決めるわけじゃなくて、子どもたちがどう思っているか。実際うちの子に聞いたら、統合は嫌だって言ってました。何でって聞いたら、勉強とかじゃなくて、自転車で学校に通ってみたいって言ってました。そういう理由で嫌だっていう場合もあるし、子どもたちがどういうふうに思っているかを聞いて欲しいだけであって。ただ聞くだけなのに何で駄目なんですか。

回答（教育長） 白浜でも同様の意見が出ました。お子さんの考えを聞くのなら、それぞれの家庭で聞いていただきたいと思います。それで保護者の集まりの中でその意見をもとに協議していただいて、結論をいただきたいということです。教育委員会として、子どもたちにアンケートをとったり、子どもたちの考えを聞く考えはありません。別に子どもの考えを聞くことを否定するわけじゃありませんし、保護者さんのお考えで子どもの意見を聞いて、我が子の意見はこういう意見だったって、ぜひ保護者の集まりの中で仰っていただいて、保護者の意見としてどうなのかまとめていただきたいというのが、私どもがお願いしていることであります。

回答（委員長） 今、大人でもこの統合がどうなのか悩んでいる中で、小さな子どもさんに「どうなんだ」って聞くことも、多少酷な部分もあると思います。ただ、家庭の中ではそういう話をされるのも、大いに結構だと思います。その発言を、何らかの形で表に出すような、そういう機会をなるべく取られてはいかがでしょうか。